**『ベスト・フォー・ウイメン』2011年9・10・11月号**

**メンバーシップ記事：母から言われた「皆と仲良く」の大切さ**

いろいろな人が会員としてやってきます。私たちは連盟全体で多様な会員を持つという恩恵に恵まれています。私たちはそれぞれユニークであり、一人ひとりを特別な存在にする資質と特長を持っています。ご存知の通り、多様であるということは違っているという意味です。グループに何か違ったものを取り入れるときはいつでも、そのグループの力学、行動パターンが変わり、対立が起こりえます。

大半の人は、対立を好みませんが、摩擦や異なった見方というものは、人生の一部です。会員がクラブ内で対立を経験すると、怒りや不満を感じることもあるでしょう。それは、関係する人たちに不安やストレスをもたらすだけでなく、会員全体に伝わって、クラブの雰囲気に悪い影響を与えかねません。

でも、対立にはプラスの面もあります。それは、新しいアイデアをもたらし、コミュニケーションや人間関係を築く技能を磨いてくれることもあります。対立に直面したら－クラブ内でも、家庭でも、職場でも、対立に出くわすことはあるでしょう－、次のアドバイスを覚えておくと、落ち着いて、冷静沈着であるのに役立ちます。また、これらは、他のクラブ会員の問題解決促進を手伝うためにも活用できます。

**対立は起こるものだということを受け入れましょう。**

クラブは大きなコミュニティの縮図ですから、当然ながら少しの対立は起こるものです。意見の違いがあったときには、多くの場合、それは会員が使命に情熱を傾け、熱心に努力しているからでしょう。もし対立が建設的に対処されれば、その結果はクラブ全体に恩恵をもたらすかもしれません。

**衝突は迅速に対処しましょう。**

対立は避けられませんが、早い段階でそれをつかまえることで最小限に食い止めることができます。状況を無視すると、それは悪化し、大きく広がることになります。誤解がある可能性があれば、直ちに対処しましょう。

**コミュニケーションを取りましょう。**

対立に直接関わっている場合は、お互いに冷静に建設的に議論できるところで個人的に話し合えるように、相手を招きましょう。または、他の人たちの間に入って問題を解決する必要がある場合には、一人ひとりの問題への視点を集めるために、関わっている人たちそれぞれと話し合う必要があるかもしれません。

**責任感を持ちましょう.**

対立に一対一で向き合うのが、問題解決への最善のアプローチです。間違いを犯したらそれを認め、誤り、現在の問題への解決策を提案しましょう。相手が間違っているときは、寛容さを大切にし、それを示しましょう。

**ゴールドは素敵ですが、プラチナはもっと素晴らしい**

「自分が他人からしてもらいたいように他人にしてあげなさい」という黄金律を超えて、「他人がそう扱われるのを望むように扱ってあげなさい」というプラチナ・ルールを取り入れましょう。これは、関係の焦点を、「これが私が望むこと」から、「まず、あなたが望むことを理解させてください。それから、それを提供できるかやってみましょう」に移すことを可能にします。

**結果を交渉しましょう。**

解決策についてアイデアを出し合い、選択肢を見つけましょう。関わっている双方に恩恵をもたらす解決策を探すために、柔軟になり、相手の話を聞き、別の側面を検討しましょう。譲歩は、関わっている全員に満足感をもたらします。

それぞれの状況によって、結果は様々であることを覚えていてください。どのように反応もしくは対処するかで、あなたは全く違う結果を生み出しえることを心に留めておきましょう。反応は性急で、外部の影響によって誘発・支配されたりする傾向があります。一方、対処とは、もっと慎重で、バランスのとれた行動のことです。

あなたがクラブのどなたかと対立しているなら、対処する前に立ち止まり一呼吸おくようにしましょう。そうすることで、前向きな方法で問題に取り組もうとしたという満足感を得られるだけでなく、クラブ全体に恩恵をもたらす解決策のために努力したと感じられるでしょうから！

**SIAメンバーシップ・ディレクター**

**ニコール・シモンズ**

nicole@soroptimist.org